

DLC膜表面加工

# 韓国・台湾に代理店 ナノテック、納期を短縮

【浦和】ナノテック（埼玉県南埼玉郡白岡町西8の19の8、中森秀樹社長、0480・93・2911）

は、韓国と台湾で同社製の装置を使ったダイヤモンド

ライク・カーボン（DLC）膜の表面加工代理店を相次いで確保した。短納期のニーズに合わせ、輸送時間がかからない現地で表面加工処理する方針に沿ったもので、装置販売のほか、技術指導もナノテックが実施する。

韓国、台湾の代理店は従来、ナノテックの営業代理店だった企業。現地のユーザーからコーティング加工を受託し、日本のナノテックに取り次いでいた。今回、韓国ではDLCコーティング装置「DASH400」を、台湾では「DASH800」をそれぞれ購入。今後は両代理店がナノテックの技術指導を受けて、自社で加工する。

韓国では、すでに現地で加工が始まっており、台

湾でも10月に開始の予定。ナノテックのDLCコーティングは主に金型などへのコーティング需要が多い。韓国、台湾のほか、マレーシア、シンガポール、中国などからも加工依頼が相次いでおり、同社では、今後現地代理店を使った現地加工を推進する考えだ。